

第31回 全日本大会（静岡）

2005年3月20日

浅野 昭 / 村越久子

2005年3月20日、全日本大会が開催される。場所はオリエンティアの聖地・静岡県富士市。テレインの質は折り紙つき！

魅力的なテレインにあぐらをかかず、参加者獲得大作戦に乗り出す静岡県オリエンテリング協会。

PR 大作戦！！

今年度の全日本大会のテレインは、オリエンティアにとって、魅力のある富士山麓です。以前は「富士山麓」というだけで参加して下さる方も多くいました。まずはここ数年のJOA主催大会、インカレの参加状況を調べてみました。事前PRがまずは大切です！

今年3月に山口で開催された全日本大会の閉会式で、次回開催宣伝の場を作って頂きました。開催予告のピラも配布しました。

ホームページで情報を色々提供することにしました・・・これは、まだまだ改善の余地有り？

大会会場でのPR、口コミ勧誘。ダイレクトメール。（パソコン利用の環境にない方も結構いらっしゃいます）PR担当がこれから本格的に動き出します。

大会そのものだけでなく、静岡・富士での付加価値・・・観光スポット、食べ物の情報なども提供したいと思えます。

早い要項と、楽な申し込み

JOA 主催大会の要項といえば、A4 三つ折りの要項が定番です。これを手にした常連さんは「JOA 主催大会の要項が出た」と感じるようです。

いや常連さんだけではなく、「どんな大会なんだろう」と要項を見てくれる方を増やしたい・・・そこでお手本にしたのが、昨年の東日本大会や各地のマラソン大会の募集要項でした。10月3日、クラブカップリレーから配布の予定です。例年よりかなり早めの配

布です。

申し込みを簡略化することはできないか・・・？ 参加費を郵便振替口座を利用して支払う場合は、通信欄に必要事項を記入して、参加費を支払えば申し込み終了。最近は大きい郵便局のATM機で郵便振替ができるようになり、以前ほど時間を気にする必要はなくなりました。また、競技者登録をしている方は、登録番号、名前、希望クラスの記入でOKにしたい・・・なんてことも検討中です。

スポーツエントリーも利用できます。大会会場での申し込みも、もちろん行います。10月3日のクラブカップリレーから、2月の早大OC大会までを予定しています。

割引します

全日本大会の参加費は準備の手間暇を考えれば、決して高くないです。他の競技・マラソン大会などと比べても高くないです。

しかし、参加できるかどうか微妙だけどとりあえずエントリーだけはしておこう、という人にしてみれば、やはり高いと感じる金額にはなります。そこで、

自分のEカードを使う方は200円引き。
プログラム不要の方は300円引き。

あわせて最大500円引きを検討しています。少しはお得感があるでしょうか？（5月に開催した大会で約200人のエントリーがあったのにプログラムの郵送希望は5人でした。）

早割も検討しましたが、JOA 主催大会はできないそうです。

ベテランにAクラスが新設！

このたび、JOAの競技規則が改正になり、今回の全日本大会より、これまでA/Bが付いていなかった高齢者クラスにも、Aクラスが新設されることになりました。

具体的には、M65A、M70A、W55A、W60A、W65Aの5クラスが新設されます。（注：M65Aは東西大会より。参加者が少ない場合は、統合の可能性はある）

以前は、男子65才以上、女子55才以上の参加者は数少なく、女子クラスではクラス統合されることが常でした。また、実力選手の中には、あえて年齢が下のAクラスに挑戦する方もいました。しかし、全日本大会全体の参加者が減少傾向にある中、高齢者の参加者は年々増加しており、かつての35A、50Aのチャンピオンがこれらのクラスにぞくぞく参入してくることもあり、質、量とも若者に負けにくいぐらいの熱い戦いになることは必至です。

これらのクラスに出場するみなさんは、当然OL歴も長く、全日本大会参加回数も20回を超える方が数多くいらっしゃいます。よって、優勝経験も豊富な方がいらっしゃいます。全日本大会での勝利数については、村越真さんが有名ですが、（M21Eの他に、当時のH16A、H17Aでも勝利しており、30年間で計24勝）OLP兵庫の芝聖子さんは通算14勝で歴代第2位、多摩OLの高橋厚さんは通算13勝で歴代第3位の記録をお持ちです。お二方とも今回の新設クラスの出場権を持ちます（芝さんはW60A、高橋さんはM70A）ので、このクラスでさらに優勝回数を積み重ねることができると注目は。ぜひ、今年度の全日本大会では、エリートクラスだけではなく、これまでのOL界を支えていたベテラン選手たちの戦いにも興味を持って頂ければ幸いです。

当初、主管の静岡県協会では、要項の参加クラスの注に「M65/M70/W55/W60はAクラス難度のコースです」を入れる予定でした。いままではこれらのクラスに難易度が明記されていないため、参加者、運営者双方に「どんなコース？」という混乱があったと思われるからでした。ところが今回の競技規則の改正により、これらの問題が解消されました。

（浅野 昭、村越久子）